

報道発表資料の配付日時 7月9日(木) 17時00分

発表項目 (行事名)	『昼カラ』という表現の使用自粛に係る北海道カラオケボックス協会から報道機関への依頼について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道カラオケボックス協会は、7月7日付けで、報道機関各社に対し依頼文(別紙)を発表しました。 ○ 依頼内容は、「昼カラ」という表現の使用自粛と、正確な表現の使用についてのものとなっております。 ○ 道としても、今後、例えば「カラオケ喫茶等において集団感染発生」などといった正確な表現の使用に努めてまいります。 		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	今後の報道に当たっては、ご配慮賜りますようお願いいたします。	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当 (連絡先)	北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 休業要請・休業確認班(担当者:八木)内線38-851
-------------	---

報道機関各位

現在、北海道札幌市や小樽市にあるカラオケ機器が設置されている喫茶店等に昼間に集まって歌唱した高齢者の方々に新型コロナウイルス感染症が拡大するという、いわゆるクラスターが発生しておりますが、このことにつき、各メディアにおきましては「『昼カラ（昼カラオケ）』でクラスター発生」などといった表現で報道されております。

しかしながら、クラスターが発生しているのは感染症拡大予防につき十分な措置を講じていない喫茶店等であります。

この点に細心の注意を払い、ガイドラインに則り十分な措置を講じているカラオケボックスではありません。

にもかかわらず、「昼カラ（昼カラオケ）でクラスター発生」といった表現に接した視聴者等は、単純にカラオケとクラスターを結びつけて受け取る恐れが極めて高く、前記のとおり感染症拡大予防につき十分な措置を講じているカラオケボックスの営業に深刻なダメージを発生させかねないものであります。

報道機関各位におかれましては、どうか視聴者等に誤解を招きかねない「昼カラ（昼カラオケ）」といった表現はお控えいただき、実態に即し、「カラオケ喫茶でクラスター発生」と略語では無く正確な表現で報じていただきますようお願い申し上げます。

令和2年7月7日

北海道カラオケボックス協会

会長 高橋 洋一